

## 中国 世界のリンゴ輸出国首位の座を失う

EastFruit 2023年6月21日

生鮮リンゴ輸出国の世界ランキングで長期的に首位にある中国は、2022/23年度の輸出量を大幅に減らした。このため、本サイト(EastFruit)のアナリスト達は、今シーズン間違いなく世界のリンゴ輸出の新しいリーダーが現れると見ている。

国連食糧農業機関(FAO)投資センターのエコノミストであるアンドリー・ヤルマク氏は、「イタリアが2022/23年度の世界のリンゴ輸出の新しいリーダーになる可能性が最も高い。ポーランドがリンゴの輸出量で中国を追い抜く可能性も高い。近年中国とほぼ同量のリンゴを輸出して主導的な地位に近づいていたイランは、リンゴの輸出量が中国以上に急減したため、むしろランキングを下げると見られる」と述べた。

2023年最大のリンゴの会議で、世界のさまざまな地域からリンゴの生産と貿易の予測が発表されるであろう「Prognosfruit 2023」を主催するのがイタリアであることは、象徴的である。ヤルマク氏はこの会議で、ウクライナ及びコーカサス・中央アジア地域の国々におけるリンゴとナシの生産と価格の見通しについて講演する。

本サイトのアナリストによると、中国のリンゴ輸出が減少した主な理由は、いくつかの異常気象による収量の低下である。さまざまな推計によると、中国のリンゴの生産量は400万~500万トン減少した。その結果、本サイトの調べでは、2022/23年度の中国のリンゴ輸出量は前年度比25%減の約75万トンとなる可能性がある。これは、同国の生鮮リンゴ輸出量の久しぶりの最小値となる。

興味深いことに、イランは2022/23年度のリンゴの輸出量を40%減らす可能性があり、これにより世界ランキングの2位から7位に転落する。

ちなみに、ベトナムは歴史上初めて中国産リンゴの主要市場になる可能性がある。ベトナムはリンゴの輸入量においてインドネシアを追い抜く可能性があると予想される。また、中国からの大量のリンゴの輸出は、タイ、フィリピン、バングラデシュなどの市場でも注目された。なお、ウズベキスタンは輸入量を1年で2.5倍に増やし、中国産リンゴの最も重要な市場のランキングで12位となった。

中国のリンゴ輸入もこの期間に急増し、生産量減少の推計を裏付けた。中国は10万トンを超えるこれまでで最大のリンゴを輸入すると予想される。中国へのリンゴの主な供給国は、従来からニュージーランド、南アフリカ、チリ、米国、フランスである。オーストラリアとポーランドも少量のリンゴを中国に輸出している。

## ベトナム オーストラリア産タンジェリンが中国産との競争で半値に

VNEXPRESS INTERNATIONAL 2023年6月25日

6月下旬にベトナムで販売されたオーストラリア産タンジェリンの小売価格は、この果実が旬であり、中国産タンジェリンと競合しているため、前年同期に比べて半値となった。

ホーチミン市の伝統的な市場や果実店では、オーストラリア産のタンジェリンは9万~12万ドン(3.83~5米ドル)/kgで販売されている。価格は、2017年にベトナムに最初に輸入された時の25万ドンから下落した。

市内の輸入果実店のオーナーであるオアン氏は、「オーストラリア産タンジェリンのシーズンは6月から10月または11月まで続く。毎年、この果実は地元市場限定であったが、今年はオーストラリア産の輸入品と同じ様にパッケージされた中国産のタンジェリンと競合している」と言う。

ホーチミン市のトゥーダク農産物卸売市場のマネージャーによると、市場のタンジェリンのほとんどは中国産であり、卸売価格は2万5千~3万ドン/kgである。

ベトナム産のタンジェリンと比較して、オーストラリアや中国で栽培されたタンジェリンは果汁が多く、繊維が少なく、皮が薄く、香りが強い。

執筆者: ホン・チャウ